



# MDP

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第11節  
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM  
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 08

05.03 [WED]

15:00 KICK OFF  
VS 横浜F・マリノス



©1992 Y.MARINOS



熱くさせる男。  
俺を信じろ！

ベテランと呼ばれる年齢に差し掛かって小野裕二の闘志は燃え盛っている。サガン鳥栖に復帰した昨季は26試合に出場。近年は度重なるけがに見舞われ、年間をとおして戦い抜けないシーズンが続いた中で復活を印象付けた。それでも、小野自身の中にあっただのは「もっとできる」という思いだった。「去年はなかなか先発で出ることができなくて悔しかった。自分が試合に出たいという思いは変わらない」。年齢を重ねてもその闘志とギラギラ感はまったく変わらない。ただ、初めてかつて在籍したチームに「復帰する」という経験をして、感じた思いもある。コロナ禍もあり、ファン・サポーター、スポンサーの方々と接する機会は限られたが、その中でも「『帰ってきてくれてありがとう』という言葉がたくさんもらいました。自分にとっては本当にありがたかった。一度、鳥栖を離れた自分に対して以前と変わらない愛情を注いでくれる人たちの存在は小野に「勝つこと」への思いをさらに強くさせた。

今季は始動以来、一貫してフォワードとしてのプレーが続いている。「去年は中盤でパスを出す役割も多かったけど、今年はよりゴールに近いところで動ける。ひさしぶりに『ザ・フォワード』で行くぞって感じのシーズンになるので、そこで勝負できるのは楽しみ」。勝利に直結するゴールが求められるポジションへの復帰に闘志とギラギラ感はさらに増していた。前節、京都サンガF.C.戦では自身のJ1通算200試合出場を1ゴール1アシストの活躍で飾った。ゴール直後の咆哮、勝利の瞬間のガッツポーズ、誰よりも熱くなれる男は誰よりも周囲を熱くさせる男でもある。「自分がすべての試合で勝利に導く。それくらいの覚悟をもって今季は臨む」。鳥栖の最前線には闘志をたぎらせ、その背中でチームを、サポーターを引っ張っていく背番号10の姿がある。「帰ってきてくれてありがとう」と言ってくれた人たちへの恩はまだまだ返しきれていない。ゴールで、勝利で、小野は鳥栖を熱くする。

matchday program presents



## 「ファントークン本格始動記念」 スペシャルマッチ